

ながい 議会だより

3月議会定例会 ②
町づくりを問う ⑧
一般質問(8議員)
ぎかいトピックス ⑩

上級生といっしょに — 中村小学校入学式 —

 第171号
平成27年5月15日発行
神奈川県中井町議会
E-mail gikai@town.nakai.kanagawa.jp

3 月 定 例 会

平成27年第1回中井町議会定例会を3月3日に開会し、会期を11日とした。町から一般会計他5会計の当初予算、条例の制定2件、条例の一部改正5件、条例の廃止1件、一般会計他2会計の補正予算について提案され、原案のとおり可決した。

また、副町長の人事案件についても、原案のとおり同意し、人権擁護委員の諮問も適任とした。一般質問は8名の議員が13問にわたり行った。

条 例

◎中井町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額に関する条例

平成27年4月より子ども・子育て支援法が施行されることにより、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担の額を定める必要があることから本条例を制定しました。

◎中井町立なかいこども園条例

平成27年4月より、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部を改正する法律が施行されることにより、幼保連携型認定こども園「なかいこども園」が、新たに、学校及び児童福祉施設としての法的な位置づけを持つ単一の施設となることから、設置や保育料に関して必要な規定を整備するため、本条例を制

定しました。

◎中井町農村集落センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例

昭和63年に建設した五分一地区の集落センターを平成27年4月1日付けをもって、日常の管理を行っている五分一自治会へ譲渡するため、同集落センターの設置及び管理について必要な事項を定めている本条例を廃止しました。

◎中井町総合計画審議会条例の一部を改正する条例

中井町自治基本条例及び中井町議会基本条例の施行により、町民参加の推進と議会の議決事項が規定されたことにより、総合計画審議会の組織を改正しました。

◎中井町行政手続条例の一部を改正する条例

行政手続法が改正され、「行

◎中井町保健福祉センター条例の一部を改正する条例

中井町保健福祉センターにおいて中井デイケアセンターが設置され、社会福祉法人中井町社会福祉協議会が通所介護事業を行ってまいりましたが、本事業が平成27年3月31日をもって終了し、中井デイケアセンターを廃止することから、所要の改正を行いました。

補 正 予 算

今回可決した補正予算の主なものは次のとおり。

一 般 会 計

歳出では、地方創生のための交付金にかかわる事業費として総務費の企画調整費、民生費の子ども・子育て支援事業費、商工費の商工振興費、教育費の事務局費等を追加し、これらの地方創生の事業費については、年度内執行が難しいことから繰越明許いたしました。また、土木費の工事請負費の執行残を減額しました。

歳入では、地方消費税交付金、地方交付税を減額し、前年度繰越金を増額しました。総額は38億8219万9千円。

国民健康保険特別会計

保険財政共同安定化事業拠出金を減額し、保険給付費の増加に伴い、一般被保険者及び退職被保険者の療養給付費の追加計上により、総額は、13億5087万7千円。

介護保険特別会計

訪問介護及び通所介護の利用者の増から居宅サービス費を追加計上し、施設サービスでは、利用者の減から老人保健施設費を更正したことにより、総額6億9257万5千円。

中井町副町長の選任

早野副町長の辞職に伴い、加藤 幸一郎氏に選任の同意を求められ、議会は賛成全員で同意しました。

人事案件の諮問

人権擁護委員に
秋山和江氏（新任）
を適任としました。

平成27年度 予算総額は 69億5,550万円 一般会計は、37億円

★ 会計別予算額比較表

会計別	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較 (A-B)	対前年度伸率
一般会計	3,700,000 ^{千円}	3,757,000 ^{千円}	△ 57,000 ^{千円}	△ 1.5 %
国民健康保険特別会計	1,490,616	1,270,300	220,316	17.3
介護保険特別会計	724,092	673,887	50,205	7.5
後期高齢者医療事業特別会計	101,827	99,032	2,795	2.8
下水道事業特別会計	609,787	566,213	43,574	7.7
水道事業会計	329,178	328,750	428	0.1
合計	6,955,500	6,695,182	260,318	3.9

水道事業会計の予算額は、総支出額から減価償却費を除いた額です。

当初予算 主な質疑・応答

一般会計

総務費

問 シティプロモーション事業費の目的は。

答 町のイメージアップと認知度向上のために、効果的な情報発信を目指す。

問 中井町の将来像、ビジョンを策定していく中で町が活性化していくため、どこをターゲットにしているか。

答 プロモーション事業は、地域活性化、定住化促進等のひとつの手法として実施を考えている。

問 シティプロモーションについて議論するような場がないか。

答 第6次総合計画、地方版総合戦略の中で、町民意見を取り入れながら、いろいろなものを考えていきたい。

問 コンビニ収納事業で、滞納が減少するという考えか。

答 納税しやすい環境の整備が目的。

問 生涯学習施設整備委託料について、仮称・生涯学習センターを作るという方向か。

答 比奈窪ハイパス完成で役場周辺の土地利用を見直す方が、できればつくってきたい。

問 昨年度半ばから法人町民税の税率が12.3%のうち2.6%が国税化。27年度の影響額は。

答 26年度は、4300万円ほどの減収。27年度は1年間対象となることから、約その倍の金額の減少を見込んでいる。

問 「わたしの提案制度」は、どう活用をされたか。

答 町の観光PR、電動椅子、シニアカーの登録制度等について提案があり、各課で実施できるものについては対応している。

問 事業評価をどのように行っていくか。

答 5年以上の事業で50万円以上継続して行っている事業を

対象として、外部評価を取り入れたい。行政がやらなければいけない事業なのかも、評価の視点として捉えたい。

問 番号制度関連事業について、社会保障・税番号制度への移行ですが、住基ネットの番号との関係はどうなっているのか。

答 住基番号との関係はない。新たな番号にする。

問 広域バスマップで、町のオンデマンドバスをどうアピールするか。

答 酒匂川流域の広域バスマップで、町のオンデマンドバスの運行状況など利用促進に向けてPRをしていきたい。

問 防犯指導員の見守りなど場所が限られている。何か工夫ができないか。

答 防犯指導員は、松田警察署から委嘱されて、月1回から2回、巡回。町が生きがい事業団に委託している安全監視員は、月曜日から土曜日、学校・保育園等の警備をしている。地域に何か起きた場合、監視員の方にも詳細な情報を伝えるという形は工夫している。

民生費

新規、高齢者サロン活動事業委託の内容は。

保健福祉センター3階を開放し仲間づくりの場を設け、カラオケ体操、陶芸等を行い健康な生活を支援する。

学校給食費、保育料の無料化の総額は。

トータルで1億円弱かかる。

緊急通報システムの内容は何か。

一人暮らし、日中独居・心臓疾患等で不安がある方、44人に貸与。27年度には県のモデル事業に町としてスマートフォン、携帯を使った緊急通報システムに参加。

衛生費

HEMS設置補助金の目的は。

太陽光発電だけでなく、消費電力の見える化をすることで節電意識の高揚を図る。

中央公園で犬の散歩、ふん害、放し飼いを目にする、

次頁へ

反対討論

小沢長男 議員

実質賃金は連続19カ月マイナスです。アベノミクスがめざす10%への消費税増税、物価上昇策が庶民の暮らしを苦しめています。貯蓄ゼロ家庭が36%以上に達し、子ども・母子家庭の貧困も深刻になっています。日本共産党の町民アンケートでも71.3%の人が暮らし向きが悪くなったとし、主な原因は53.3%が消費税増税と物価高であるにもかかわらず、町長の消費税10%への増税に賛成発言は、町民の生活の厳しさを見ない姿勢です。給付抑制、負担増への改善、介護保険料の値上げに反対です。国保会計では、国保税の引き上げや保険証の取り上げ・税率納率向上強化が懸念される国保の県広域化に移行する段取りには反対します。年少扶養控除の廃止等を考慮しない保育料制定には反対です。すべての国民に番号が付けられ、社会保障の給付抑制と税・

賛成討論

森 丈嘉 議員

平成27年度予算は、固定資産税の評価替えや法人町民税の一部国税化などにより、昨年比1億5千万円近くの減収となりますが、財政調整基金の取り崩しと町債の発行により収支の均衡を図ったものとなりました。新たな事業として、土曜学習事業では、外国語を必然的に享受できる幼少期こそその英語力向上と、学習意欲の向上を目指したものと理解し、社会教育行政の核となる事業として定着されるよう期待します。また保健福祉センターでのデイサービス廃止に伴い、高齢者のサロン活動と健康・体力づくりの場として施設利用の変更がされますが、創意工夫を持って町民の集える場にして頂ければと考えます。橋りょう長寿命化事業として、2900万円の町債発行があり、安全・安心面から一定の評価をいたします。他に諏訪地区の土地利用整備事業では、昨年の繰引き見直しにより7.8haが一般保留区域に指定されたものであり、今後の都市計画策定における前進であることから期待をいたします。一方、税収面や災害等において特段不測の事態が発生した訳ではなく、財政調整基金の取り崩しがなされています。本来避けるべきではありますが、各種計画策定など事業量の多さから平成27年度においては、しかたないものと理解します。今後の町政運営においては、多様化する町民ニーズに的確かつ柔軟に対応されることも必要であることから、事業の優先順位、費用対効果を勘案しながら、経費の削減を図られるよう申し添えておきます。総合的な観点から見まして、それぞれの分野での確な対応がなされているものと判断し、議案第9号平成27年度中井町一般会計予算に対し賛成の討論いたします。

問 町は指導しているか。
答 現場で直接指導、看板等に対応しているが、子どもたちに影響が出ないよう今後、十分徹底を図る。

農林水産業費

問 農地利活用推進補助金でアカデミー受講料は。
答 新規就農者等に就農に対する1年間の研修費用の半額を補助する。

問 有害鳥獣駆除費でイノシシのくくりわなにリーダーをつける考えは。
答 すべてのわなにつけるのではなく、危険な場所、遠い場所から10台ほど予定をしている。

商工費

問 地域ブランド推進の方向は。
答 中井町の野菜は多品目なのでこれだという特産物は出来ない。野菜結束テープで中井町産と表示し、評判が出てくるようにする。

次頁へ

にる賛成討論 武井一夫 議員

昨年の11月に地方創生法が成立し、地方の裁量、努力したいでは、我が町にもチャンスが訪れています。そのチャンスをも的確に捉え、熱意ある創意工夫が求められています。

その様な中、杉山町長は就任後初の予算編成と成りましたが、町税の大幅な減額に伴い平成27年度一般会計予算額は37億円で、前年度対比5700万円の減額となりました。

限られた厳しい財源の中、新たに町長の公約でもある小中学校の学校給食費の助成と、保育料の助成事業が計上された。任期中の完全無料化を期待します。

さて、高齢者の肺炎球菌ワクチン予防接種費用の助成事業は、健康余命延伸に効果の高い事でもあり、引き続き継続されたい。また、特定不妊症治療・不育症治療費助成では、これまでに赤ちゃんを授かった事例もあり、継続を要望します。

次に、中井中学校の太陽光発電設置事業は、クリーンエネルギーを活用し、広域避難所の機能強化を高める事に期待します。また、地域防犯活動の推進・急傾斜地崩落防止対策・生活関連道路整備・橋りょう長寿命化事業は、町民の大事な命、生活が掛かっています。安全安心のため監視や整備に努力されたい。

次に、定住促進、企業誘致、観光、交流人口の増加等につなげるためにはバス路線の抜本的改革が重要です。路線の見直し、急行便の新設、ターミナルや駐車場の設置など、役場周辺の開発を含め、将来の町づくりに向け取り組んで頂きたい。

終わりに、予算審議等の意見も十分に考慮され、スピード感を持って行政運営に取り組み、より一層の経費削減・合理化に努められ「ゆめ」ある中井の「みらい」を確実に拓いていくための、効率的な予算配分であると確信し、平成27年度一般会計予算の賛成討論とします。

にる賛成討論 戸村裕司 議員

しらすぎデイサービスがなくなることに對し、これまで尊い働きをしてきた方々に感謝するとともに、行政並びに社協には、利用者並びにご家族に親身に寄り添い続けることを望みます。

介護保険の制度改正に伴い、市町村が主体となって取り組む、新しい総合事業の実施や、介護予防や健康余命の視点から、保健福祉センターを再整備する施策がいくつかが出されました。入浴設備は様々に必要な場面があります。入浴設備は徐々に必要場面があります。この改革もひとつの過渡的なものとして理解します。

再整備される保健福祉センターが、限られた人だけでなく、世代を超えた交流の拠点になるよう、よりオープンで使いやすい施設となるよう強く望みます。

また、今後共、町社協が果たす役割は大きく、多様な委託がある中、働く人を大事にし、働きがいを感じる活動計画策定へとつなげて。

子育て支援においては、給食費や保育料の一部助成を始めます。地方創生関連予算に着目し特徴的な施策を実現する点を評価しますが、給食費無料化は保育料無料化とともに1億円規模の額になるため、よく見定めて展開することを望みます。

地域創生やシティプロモーションを担う、新たな班の編成を期待します。ロゴマークやボードの作成など新たな試みを評価するとともに、SNSやなかまをくんと、全庁的に的確に活用することで「中井はじまた」との勢いを示すべきです。

葉公政（しょうこうまつりごと）を問う。子曰く「近き者説（よろこび、遠き者来る）」交流人口、定住人口の増加、観光でさえ、焦点はそこに住む人の喜びと幸せです。コンビニ収納、オンデマンドバスの運行の変更等も、町民の負担軽減や利便性につながり、評価します。

全体を通し、予算がついて終わるのでなく、そこから議会が指摘した点を明確に意識し、必要ならばさらなる議論も踏まえ、予算執行に努めてもらいたい。

問 中井町産との野菜結束テープをつけるために品質の差はどのように対処するのか。

答 品質の格差があつてはならない。農家、JAと協議し講習会等を開いて品質管理に努める。

問 中井の野菜を使った料理レシピの選定は試食もしないで決めたのか。

答 フェスティバルで予定していたが、衛生上の問題から試食できず、地域農業再生協議会で3点を決定。飲食店に働きかけをしている。

問 ふるさと納税制度の返礼品は中井町に昔からある産物や加工品を使うべきでは。

答 事業者、農業者に働きかけをしている。農商工連携の加工品も検討したい。農産物は四季折々のものを数回に分けて送ることを検討。

問 観光事業サポーターの時給の考え方は。

答 県の最低賃金に沿つ形で考えている。地域通貨での対応も考える。

土木費

問 新たな観光の核づくりとは。

答 メガソーラー周辺の散策路コースを整備、そこからの眺望を観光資源とし位置づけPR。

問 メガソーラー周辺の散策路は一周できるのか。完成時期は。

答 1.5kmの周回コースをつくれるが、中村側を整備しないと周回できない。今年度は井ノ口側を優先し早期に発注する。

問 メガソーラー休憩所の夜間の管理は。

答 事業者と調整して防犯カメラで一体管理し、安全対策に配慮する。

問 鴨沢地区の急傾斜地崩落防止対策は。

答 取り組むべきエリアと認識している。自治会長を窓口にして打診を続けている。

問 橋梁維持で町債発行する切迫性はあるのか。

答 東名高速は災害時の輸送路。26年度は境大橋を中日本高速道路株式会社へ委託し急遽工

＜次頁へ＞

国保計る 特別対 反対討論

小沢長男 議員

国保会計は、年金生活者や失業者など低所得者が多く加入し、医療にかかる機会が多くなる退職した高齢者が加入する保険です。から医療費もかさみ、社会保険のような事業者負担もなく、深刻な税負担を強いられます。

日本共産党がお願いした町民アンケートでは41.3%の方が国保税の引き下げを求めている。加入者全体が低所得者であればあるほど個々が負担する保険

税の率・額は重くなる、加入者の所得が減れば減るほど課税率を上げられるのが国保税です。アベノミクスによる物価上昇、消費税増税、低賃金化で税の重みが増します。

保険財政共同安定化事業を1件1円以上のレセプトにすれば、事実上の広域化になる。安倍自公政権は国保の広域化で、国保税負担軽減のために市町村が行っている、国保への公費支援を

止めさせる狙いで、国保税のさらなる引き上げにつながります。既に全国の自治体に収納率向上の取り組み強化を求める通達を出し、預貯金の口座凍結、電化製品の押収などの実例を示して滞納者への差し押さえ強化を求めている。広域化によって、資格証明書の発行などが強められることが懸念される。こうした広域化には日本共産党は反対です。誰もが払える国保税への改革を求めて平成27年度国保特別会計予算に反対します。

国保計る 特別対 反対討論

小沢長男 議員

介護保険は、要支援者の訪問・通所介護を保険給付から外して地域支援事業に振り向けます。特養老人ホームに入居できるのは要介護3以上にして、よほどの事情がない限り、要介護1・2は入居できなくなり、所得160万円(年金収入280万円)以上の層の利用料1割を2割負担にする。また、低所得者が介護施設を利用する場合に食費・居住費を軽減する「補足給付」

介護保険は、要支援者の訪問・通所介護を保険給付から外して地域支援事業に振り向けます。特養老人ホームに入居できるのは要介護3以上にして、よほどの事情がない限り、要介護1・2は入居できなくなり、所得160万円(年金収入280万円)以上の層の利用料1割を2割負担にする。また、低所得者が介護施設を利用する場合に食費・居住費を軽減する「補足給付」

入所を困難にする制度改悪を是正させることを求めます。このような制度改悪の中で介護保険料の引き上げです。今回の引き上げ率は14.1%です。アベノミクスにより物価上昇、所得の減少で町民の暮らし向きも厳しくなっています。日本共産党の町民アンケートでは58.8%の方が介護保険料・利用料の軽減を求めている。このような情勢のときに介護保険料の値上げは認められません。介護保険料の値上げに反対し討論とします。

要介護1・2の人や低所得者の

事したが、東向橋の補修工事は委託できなかったため町で取り組む。

問 諏訪地区の土地利用整備構想の内容は。

答 第7回線引き見直しでインター周辺の一部、県道際7.8haを一般保留できる見込みがある。その計画づくり。地権者の多数が前向きに進めることに同意している。

消防費

問 小田原市消防への委託費増額の理由は。

答 定年退職を迎える旧足柄消防組合職員の退職金を1市5町で負担するため。

問 消防団の装備更新は総務省の指導に即しているか。

答 消防庁の制服基準も勘案して難燃性の服にする。

教育費

問 土曜学習事業とはどのようなものか。

答 対象児は、未就学児と小学校1・2年の親子。3・4年

は児童のみ。英語力や学習意欲の向上のため、地域の人材・企業などの協力を得て社会教育の範疇で進めていく。

問 学校への太陽光設置はどの程度役に立っているか。

答 電力の消費量は5%から25%少なくなっている。

問 郷土資料館で施設工事請負費とは。

答 文化財保護委員の調査が夏場、冬場でもできるようエアコンを整備。

国民健康保険特別会計

問 国民健康保険の広域化とは。

答 平成30年度から実施予定。財政運営を市町村から県に移管することで規模の拡大により安定化を図る。

介護保険特別会計

問 ミニデイサービス利用者像は。

答 今後、介護になりそうな方の予防事業として運営。

議案等審議の結果

※議長は採決に加わりません。
(各議員の賛否は町のホームページに掲載しています。)

件名	月日	審議結果	件名	月日	審議結果
一般質問	3月3日~3月4日		中井町介護保険条例の一部を改正する条例	3月13日	原案可決 (賛成10反対1)
中井町農村集落センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例	3月4日	原案可決 (賛成全員)	平成27年度中井町一般会計予算	3月13日	原案可決 (賛成10反対1)
中井町総合計画審議会条例の一部を改正する条例	3月4日	原案可決 (賛成10反対1)	平成27年度中井町国民健康保険特別会計予算	3月13日	原案可決 (賛成10反対1)
中井町行政手続条例の一部を改正する条例	3月4日	原案可決 (賛成全員)	平成27年度中井町介護保険特別会計予算	3月13日	原案可決 (賛成10反対1)
中井町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	3月4日	原案可決 (賛成全員)	平成27年度中井町後期高齢者医療事業特別会計予算	3月13日	原案可決 (賛成全員)
中井町保健福祉センター条例の一部を改正する条例	3月4日	原案可決 (賛成全員)	平成27年度中井町下水道事業特別会計予算	3月13日	原案可決 (賛成全員)
平成26年度中井町一般会計補正予算(第5号)	3月4日	原案可決 (賛成全員)	平成27年度中井町水道事業会計予算	3月13日	原案可決 (賛成全員)
平成26年度中井町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	3月4日	原案可決 (賛成全員)	中井町副町長の選任について	3月13日	同意
平成26年度中井町介護保険特別会計補正予算(第3号)	3月4日	原案可決 (賛成全員)	総務経済常任委員会審査報告(所管事務の調査について)	3月13日	報告
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	3月4日	適任	文教民生常任委員会審査報告(所管事務の調査について)	3月13日	報告
中井町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額に関する条例	3月13日	原案可決 (賛成10反対1)	議員派遣の件について	3月13日	承認
中井町立なかいこども園条例	3月13日	原案可決 (賛成全員)	議員派遣結果報告について	3月13日	報告
			議会運営に関する事項	3月13日	議会運営委員会閉会中の継続審査

一般質問

厳島湿生公園を 町の観光拠点とする取組は



金子 正直 議員

町長 自然環境を守り地域と一緒に考えてたい

問 町長は、所信表明において、厳島湿生公園の竹灯籠の夕べ、あかりの祭典などを挙げ、新たな観光を創生するとし、町として近隣市町との連携強化やPRに努めると述べられている。厳島湿生公園は、県下でもまれな湧き水の湿生地を有し、さまざまな水生動植物やホタルの鑑賞を楽しむことができ、自然学習の場としても町として大切な地域資源と考えられる。

問 厳島湿生公園は、自然資源が豊富で、町外からも写真撮影にリピーターとして訪れる人もおり、この自然をどう活用しようかと町は考えているか。

答 引き続き、協働の取り組みにより町の貴重な自然資源の財産として保全していくとともに、厳島湿生公園フォトコンテストなどの施策も継続して行い、ホームページやSNSを活用し、町内外へ紹介していく。

問 竹林再生事業の一環として実施されている竹灯籠の夕べや、住民自らが企画・運営し、始まったあかりの祭典などのイベントがあるが、これらの継続開催を町はどう考えているか。

答 竹灯籠の夕べは、来場者も例年3000人を超える方があり、町内外に本イベントが定着してきたと考えている。来年度で10周年と、記念の年となり、町の一大イベントのひとつとして継続開催していきたいと考えている。あかりの祭典について



空撮から見る自然豊かな公園の様子

は、住民自ら企画・運営し、「まちづくり活動支援補助金 発展支援コース」の補助金を活用し、町から独立した開催を目指している。町では、これまで住民主体のイベントが少なく、このような取り組みは地域発展に大きく寄与されており、大変誇らしく感じている。年々イルミネーションも増え、来場者も増加していると報告を受けており、地域の活性化を図るためにも、今後も継続的に開催していきたいと考えている。



昨年も盛況だったあかりの祭典

問 あかりの祭典については、3年間の町の補助金が、今年で切れることになると思う。町のほうでは、支援を何かの形で続けていきたいというふうな考えがあるのか。

答 将来的には、実行委員会形式で、竹灯籠の夕べとあかりの祭典を一緒にして、取り組んでいきたいというのが最終的な考え方であってもいいのかなと思っています。

問 2つのイベントが毎年盛況になっていく中で、公園のトイレの増設、駐車場の確保、電源容量の規格を上げるなど、この3点について町のほうで、ぜひ今後、前向きに検討いただけませんか。

答 指摘の件は、今後も多方面の中で検討する課題であるということとは十分認識しているので、取り組みできる方法を検討していきたいと思っています。

一般質問

地方分権時代における 未来計画の策定を



成川保美 議員

町長 3つの視点により、着実な実行

問 地方分権時代における地方自治体の地域運営の在り方については、中井町が直面する人口減少克服・地方創生という構造的な課題に取り組まなければならない、町を客観的に分析する必要がある。なぜ他の町より結婚率が低いのか、なぜ他の町より出生率が低いのか、高齢化率はどのように推移していくのか、それらを直視して第6次総合計画を策定する必要がある。町の将来を左右する重要な計画策定をする総合計画審議会委員を4名削減し、委託業者に任せるとの事だが、地方分権時代における中井町の未来計画を策定するのにそれでよいのかと私は疑問を感じる。

答 二元代表制の一翼を担う議会でも議論をしなければならぬが、現実論として素案の時点で、議会の意見を反映できるような方法で総合計画を策定して頂きたい。

答 新たな総合計画は、持続可能な地域経営を図るため、協働の視点、美・緑あふれる中井町を創造するための地域資源を生



みんなで支え合うファミリーサポートセンターの設立を

かす視点、質の高いサービス提供するための行政経営の3つの視点により、計画の着実な実行を目指して策定する。

問 絶対に総合計画を委託しなければならぬ理由はあるのか。

答 委託した方が効率的に進められる。

問 委託料はいくらか。

答 2年間で1500万円ほど。

問 経験豊かな職員OB・民間OBの方を期間限定の策定委員として採用できないか。

答 ワークショップの中に入っ

て頂ければいいと考える。

問 ファミリーサポートセンターの設立については。

答 27年度までに1カ所設置する目標を掲げている。必要性は認識しているので設置に向けた調査・研究をしていく。

問 2040年の町内人口は65才以上が39.6%、15歳未満は9.9%、15歳以上から64才は51.1%。2025年には高齢者を支える層は40%以下となる。少子高齢化、財政状況から見ても、今後は互助に焦点を当てるべきだと思う。そのためにもファミリーサポートセンターのシステムの構築が必要と判断するが。

答 お互いに助け合って生きていく社会を構築するのは極めて大事。執行も議員の考えと同様

た。平成26年度は登用率は伸びているが、どういう事に努力をされたのか。

答 専任可能な女性人材が少ない中、当て職での、拘束の緩和や、撤廃を行い、公募枠の拡大と緩やかな女性枠の設定、女性人材の登録、事前の相談制、女性委員登用の要請など継続的にやってきた。

問 国でも女性の活用を求めています。中井町でも積極的に女性を活用するお気持ちは。県内での上位を目指す強いリーダーシップを求めるが。

答 能力がある人、力のある人は男女を問わず、積極的に登用していく。男性だから女性だから、という気持ちはございませぬ。

問 中井町のホームページは町の顔と思う。常に新しいものを掲載して、検索しやすく見やすいように改善を求めるが。

答 新しいもの、検索しやすい形に今後変えていきたい。

一般質問

子育て支援に 小児生活習慣病検査を

他 1 問



原 憲三 議員

町長 学校で血液検査の実施には課題が多い



子どもの生活習慣病

中井町に於いては中学卒業までの医療費の無料化や、町長の公約として、保育園児・幼稚園児の助成拡大、学校給食費の無償化など、新たな子育て支援を掲げ、「子育てしやすい町・中井」の実現に向け政策を実行することと思えます。

町の宝である子ども達の健康を脅かす小児生活習慣病の危険因子として、肥満、高血圧、高コレステロール等の有所見者の割合が4割とも言われています。そのため、血液検査を実施し、

小児生活習慣病を早期に発見することが有効であると思えます。

問 以前、質問をさせていただいておりましたが、その時点では、「国の動向を注視し」や、「県西地域の未病を治すプロジェクトを構成する事業となるか、協議検討してまいりたい」旨の回答をいただいております。町長もかわられ、改めて町長に所見をお尋ねいたします。

答 現在、小中学校では、学校保健安全法に基づいた健康診断を実施し、施行規則に定められた項目を検査し、子どもたちの成育や健康状態の把握を行っています。

に保護者の理解が得られなければ実施できないなど、課題が多く指摘されており、血液検査の実施は考えておりません。

今後は、県西地域の未病を治すプロジェクトに含まれるように県に働きかけていきたいと思えます。

問 心臓疾病等の検査をどのような形でやっているか。

答 学校の現状ですが、4月〜6月、この間に健康診断を実施しています。健康診断の事後処置については、学校と家庭の役割を明確にし、健康診断の結果を子どもや保護者に知らせ、健康教育を行います。家庭は、状況に応じて、予防処置、医療の受診、再検査などを行います。

問 昭和33年の法律、以後50年食生活、いろんな状況は50年前と比べたら大変変わっているのではないかと思えます。

答 学校保健安全法は確かに古いものです。文科省に於いて、今後の健康診断のあり方等に関する検討会で、平成25年12月に

回答が出ています。町でも、血液検査の実施は課題が多いことから、まだ実施しない。

「環境に優しい子育て支援を」

近年、異常気象による災害が日本列島に発生しています。園児や児童の園舎や校舎の外での活動はどうでしょうか。温暖化対策、環境保全の観点から子育て支援の一環として伺います。

問 子ども園のグラウンドの一面と屋上に芝を張る考えは。

答 校庭等を芝生化することは、砂ぼこりの防止や遊ぶ子どもたちの怪我の減少など様々な効果が期待されます。しかし、芝生造成や維持管理には人的・経済的負担を要することや、一般開放に制限が加わることが懸念されます。屋上の利用につきましては園からの要望や必要性に応じ検討していきます。

一般質問

宮原坂本地区の 水害対策の検討を

他 1 問



二宮 章 悟 議員

町長 現況対策を至急検討し 改めて費用算定する

坂本地区は、地形が窪地であり、上流の秦野市側の東名高速道路側の排水、周辺の農地からの雨水が農道に集中し、年数回発生する局地的豪雨時は下流の住宅地に土砂が流れ込む被害が現在も続いている。平成20年には多額の予算を投じ、1500mのボックスカルバートが埋め込まれたが上流の雨水に対する排水の構造に問題があると推定します。

問 豪雨時に膝まで住宅地に水が流れる原因について町はどう考えているか。

答 住宅地は1500mのボックスカルバートで整備、上流約70mは既存の600mの側溝を活用し、さらに300mのU字溝を設置し、ボックスに取り込むことで対策を図る計画をしたが、豪雨時は飲み切れない。周辺が農地で、ごみの流入等で取水口の詰まりも影響していると想像しています。

問 3方向から雨水が集中する農道四つ角の飲み込み口、下流70mは600mの細いU字溝の



2014年 台風18号 宮原坂本地区水害状況

答 今後のあり方は検討しているかなければいけない場所であると認識しています。

問 東名の下の調整池に冷蔵庫の放置、草を捨てない看板等、秦野市を含めた上流対策は。

答 秦野市の流域、東名の周辺の水も取り込む状況で秦野市との連携は重要で改めて取り組んでいきます。

問 集中豪雨が予測されると町職員が土のう積み、片づけ作業をしているが、人員と今後も継続するか。

答 地域別にパトロール体制を

構築、土のう積みは3名で対応、今後も継続が必要。

問 設備改良等根本的対策の時期は。

答 現況の中でできる対策がどういうものがあるか、至急検討します。費用がかかるものは、改めて算定し早い時期に、取り組みができる対応をしていきたいと思っております。

メガソーラー事業促進 協議会の成果と課題

メガソーラー活用を検討するため、県、公社、地域代表、事業会社の関係者からなる事業促進協議会は1年5カ月が経過し、見学受益施設の事業予算が承認され、町内外からの来場者が期待される。また、当初から指摘されていた大規模土地造成に伴う地形の変化で、昨年7月の豪雨により、下流の住宅に土砂が流入する被害もあった。

発電開始から20年間の長い事業であり、事業関係者、

町、住民が協力して、中井町の発展と下流地域住民の安全の確保が必要と思えます。

問 造成後の環境変化と防災調整池7500tの調整能力は。

答 30年確率、時間60ミリが90分連続で降った確率の調整機能があります。

問 造成地の下流地域住民への配慮として、今後、協議会の継続が必要と思えますが。

答 20年間は、メガの管理は出てきます。町と事業者、地域と連携を図り情報等も共有が重要だと思っております。



ウサギ沢 流木がカルバートを塞ぎ道路に冠水

一般質問



岸 光男 議員

地方創生への取り組みは

町長 積極的に取り組む

今、我が国は、人口減少、高齢化等が進み、大きな政治課題となつていきます。また、東京への一極集中は、若者がふるさとを離れ、地方は活力を失い、高齢化が加速している。

このような流れに歯止めをかけるため、国は、平成26年11月、まち・ひと・しごと創生法が成立し、12月には長期ビジョン、総合戦略など閣議決定された。

町においても、地方人口ビジョン、地方版総合戦略に着手され、総合計画とも関連することから、町の将来を方向づける重要な年と考えている。

問 地方創生の取り組みで行政圏と生活圏での考え方は。

答 県西地域活性化プロジェクトに掲げられた事業の中に地方創生先行型交付金の事業が予定され、活用可能な事業にはエンターリース積極的に取り組んでいきたい。

消費喚起型交付金によるプレミアム商品券の発行は、近隣市町との共同発行の可能性について生活圏レベルで検討している。

町民の生活に関わるものは生活圏、行政圏域に関わるものは行政圏と考え方は従前と変わり無い。

問 総合計画と地方版総合戦略をどのように整合性を持って進めるか。

答 総合計画は町の最上位計画です。今回の地方版総合戦略は5カ年計画で、考え方は総合計画にある実施計画をこの総合戦略に位置付けをして、そこに指標を入れながら計画を進めていく。

問 地方版総合戦略の中で近隣市町との連携は考えられるか。

答 地域の特色や資源を生かし住民に身近な施策を広く地方版総合戦略に盛り込み、実施することが期待されている。広域観光や都市農村交流など経済性、合理性など効果が発揮できる施策については連携して行うことも可能と考えている。

問 今後、この町をどういう町にしたいのか夢を伺いたい。

答 ある面では思っています。その辺については、まだ具体的にこの言う形という部分では、また何かの機会のとときにそういう話をしていきたい。

問 27年度設置予定の地域創生班は町の将来にかかわる重要な班と思うが設置意義は。

答 町の活性化と活力あるまちづくりを推進するため定住促進、国の交付金、補助金制度の積極的活用や財源確保などこれら課題に取り組むため設置する。

地方創生を進める上での重要な班と位置付けている。

まち・ひと・しごと創生
「長期ビジョン」「総合戦略」

内閣官房
まち・ひと・しごと創生本部事務局

一般質問

中井町の将来ビジョンは



武井 一夫 議員

町長 財源確保が第一と考えます

問 今後の町の人口動向や総合戦略など、長期ビジョンの目標を立て、町の特性を活かした政策や施策をお考えか。

答 第6次中井町総合計画の策定に向け、準備を並行して進めています。今後は、結婚・出産・子育てや経済・雇用の現状把握と分析を通じて、人口減少に関する各種課題を明確にした上で、施策の方向性を検討していくことが重要となります。

問 どうしたら人口減少を食い止められるか、軌道のない町にとってはバス路線が生命線です。例えば比奈窪〜二宮路線を見ても、狭い旧道を通って目的地まで行く、時間が非常に掛かり利便性が良くない。通勤通学の時間帯だけでも広いバイパスを早く急行便を走らせたらと思いますが、バス会社と路線の検討や要望をされたことは。

答 いろいろな試みをしようと言っ話話は頂いています。トータルに考えて次の機会に改めて要望として考えて行きます。



将来期待される役場周辺の土地利用

そのような政策も必要と思うが。

答 今のアイデアについては私も考えた部分でもあり、いろんな課題等もあり、すぐにできる問題ではないが、気持ちが無ければ永久に出来ないのも、良い意見として参考にします。

問 企業を誘致したいが土地が無い、将来に備えた先行投資的な土地の確保を考えているか。

答 グリーンテックの中では、7割〜8割の企業が張り付いている状況です。企業誘致をするといつても誘致する場所が無いのも困る問題です。これからどうやって土地を取得するかという問題もあり、検討させて下さい。

問 砂利採取跡地の土地利用と規制解除に向けての努力は。

答 土地利用上の法規制、イン

フラ等の整備をどう考えるか、企業誘致の問題もあり、再度関係部署で整理して、次年度あたりに砂利採取そのものを今後どう捉えていくかを含めて、更に内容を深めて行きたい。

問 パークゴルフ場18ホールの増設を考えるべきでは。

答 資金面、場所、時期的な部分等で課題もありますが、前向きに考え検討していきます。

問 半分形の岩井戸地区は、町が助成金を出して区画整理をし、宅地開発をした事業で、人口対策の一つとしても非常に大事な場所です。地権者と良く話し合い努力していただきたい。

答 確かに、区画整理事業に取り組んできました。町では下水道事業の負担金も払っています。将来にわたっては、都市的土地利用を図っていく方向性を持っていく必要を感じています。

今後、庁舎内で十分協議し、地主さん等の理解を得て方向性を打ち出していきます。

一般質問

統一感あるデザインで町の情報発信を

他 2 問



戸村 裕司 議員

町長 ログマークやバックパネルでイメージを一新

案内図や道標、看板等、町が作成するデザインは多数あるが統一感があるとは言いがたい。美の基準は異なるが、一定の規範に沿った取り組みは、地域に付加価値を加えている。

問 公共サインガイドラインを策定する考えは。

答 目に見えない部分を含めたデザインはプロのセンスやノウハウなしには実現が難しい。

問 公共施設のバリアフリー未対応部分に共通目印をつけては。

答 大規模修繕に合わせての改修が現実的。リストアップする。

問 なかまろくんやSNSで一体感ある情報発信をすべき。

答 シティプロモーション事業として町のログマークをデザインし、記者発表の背景として利用するバックパネルを作成し、町のイメージを一新させたい。

問 教育委員会のホームページは一部のスマートフォンでは見られない。変更すべきでは。

答 小中学校で校務支援システムの運用開始でホームページを一新する。教育委員会も対応できるよつ変えていく。

問 緊急時に子ども110番のサインがないため受け入れられなかったことをどう見ているか。

答 町全体がいろんな意味で子ども安全・安心を作りだす風土を作っていく。

総合計画で担い手を

まち・ひと・しごと創生関連の事業が明らかになっている。しかしながら東京への人口流出は止まらないし、地方版総合戦略や総合計画で、都市圏にある町に適合した政策パッケージを見出すのは難しい。最終的に決め手になるのは、地域の温かさを受け入れ側の本気度だ。

問 総合計画では、計画に参画し、将来の担い手を育成する方式を取る考えは。

答 まちづくりの担い手となる

人・チームを生みだして、人がつながるしくみを作る。

問 地域支援課でパートナー制度を作っているが、若い人が加盟してくれているか。

答 150名が登録。20代は1人、30代は2人、40代は4人。

問 総合計画の町民参加では、若手をどう集めていくか。

答 町民アンケート1000人に募集をかける。アンケートの割合を若い世代に多くしながら、その方たちに出してもらいたい。

地域猫の命を大切に

飼い主のない猫が増え、被害やトラブルが生じている。外で暮らす猫の寿命は3〜4年。過酷な環境にさらされる小さな命を排除するのではなく、地域猫として全うしてもらおうには、地域で受け止める地域猫活動を行うことが必要だ。

問 地域猫へのルール作りを広

報等で呼びかける考えは。

答 地域猫活動や野良猫対策について広報等で啓発したい。

問 地域猫活動支援の考えは。

答 団体や地域ぐるみで地域猫活動をしている事例は見受けられない。広域的な不妊去勢手術の徹底が困難なので、活動が定着してきた際には、支援を検討。

問 善意で不妊去勢手術を行ってきた町民もいる。地域猫避妊去勢手術助成金の取り組みは。

答 飼い猫と野良猫を区別することが困難であることから県内でも実施例は少ない。関係機関と協議し里親制度などを検討。



避妊・去勢手術を受けた地域猫は耳に切り込みがある（町内）

一般質問

税収減少のなかで 町民生活どう守る

他 1 問



小沢長男 議員

町長 経済情勢回復を前提に消費税増税に賛成

問 町長は12月議会で、消費税10%への増税に賛成と答えられ、アベノミクスに期待されているところが、労働者の実質賃金は19カ月連続してマイナスです。国民には医療や介護の負担増・給付減の社会保障大改悪をし、一方、消費税増税に伴ない、大企業に大減税、大企業利益優先のアベノミクスは破綻していません。

答 日本共産党中井支部でみなさんにお願ひした町民アンケートでは、暮らし向きが悪くなったと答えた人が71.3%、消費税10%への増税に反対が71.3%です。

平成27年度は大企業の優遇法人税減税、固定資産税の減収などで、町税が1億4800万円減収になる中で、自治体として一番の役割であります住民の暮らしを支える責務をどのように果たされますか。

答 町民の暮らしと安全を守る施策を進めていくため足腰の強い財政基盤の確立が不可欠です。経済情勢がよくなることを前提に消費税増税には賛成です。

問 アベノミクスがもたらしたものは格差拡大だけです。町民アンケートでも、暮らし向きが悪くなった原因として、消費税増税と物価高が53.8%、年金収入の減少が45%。それでも消費税増税に賛成されますか。

答 経済活性化に期待し、経済がよくなった消費税増税で、財源に対して我々も恩恵を受ける部分を町民に返すことができる。

問 アベノミクスは、成長戦略で「企業が最も活動しやすい国」づくりとして、正社員をなくし生涯派遣・残業代ゼロ・首切り自由社会にする。この働かせ方は健康を保つこともできず、結婚も、子育てもさらに厳しくなります。町民の健康と幸せな家庭を守るため、行政もこの労働法制の改悪に反対すべきではないか。

答 中身を把握していないため、いま、お答えできない。

問 安倍自公政権が行使可能にする集団的自衛権は、国を守るのではなく、外国に行つて戦争を仕掛ける先制攻撃という、国際法違反の侵略戦争に日米が共同して乗り出す、まさに戦争する国づくりです。町民アンケートでも町民の56.8%の人が集団的自衛権行使容認に反対しています。

答 町民が平和の中で安心して暮らせる町政、国づくりのために動くべきと思いますが。

問 あの悲惨な戦争はしてはならないと思つている。集団的自衛権について、今、賛成・反対ではなく見守つている状態。

際法違反の侵略戦争に日米が共同して乗り出す、まさに戦争する国づくりです。町民アンケートでも町民の56.8%の人が集団的自衛権行使容認に反対しています。

問 オンデマンドバスを有効利用しやすく、検討されていますが、最終便が午後7時では、バス路線を廃止された地域では帰宅できなくなると考えるが対応は、井ノ口「原」バス停を雨風しのげる待合所にして、路線バスとオンデマンドバスの中継所にするにより、路線バスの運行されない地域にとっては利用されやすくなるのではないか。

オンデマンドバス 有効利用を

問 廃止区間の午後7時以降の路線バス利用者は4名で、オンデマンドバスの利用状況も低調のことから最終を午後7時に、乗り換え地点については当初から検討しているが最適地の結論に至っていない。

答 駅への乗り入れは神奈中に要望しているが実施できていない。

問 4名でも、夜遅くとも、帰宅できる足の確保をすべきでは。

答 バス路線が廃止される地域へは町外から訪れる人たちの足がなくなるのではないかと、対応は廃止同様の境路線では、オンデマンドバスを秦野駅まで運行すべきと考えるが。



ぎかいトピックス

平成26年度の議会報告会が、議会改革の動きや常任委員会活動の報告、参加者との意見交換を中心に、1月25日に農村環境改善センターで、2月1日に井ノ口公民館で開催され、それぞれ、11人、31人の参加がありました。まちづくりや町民と議会のかかわりなどに多数の意見が寄せられました。

議会中継への質問も

今回の議会報告会では、まず議会全体報告として、議会基本条例及び定数削減が決まってきたものの議会改革の動きを概括。その後、総務経済、文教民生の両

常任委員会からの委員会報告を行い、それぞれで質疑や意見交換がありました。

議会改革については、議会中継を行うかについて質問があり、

議会報告会の継続を

委員会審議の成果は

引き続き常任委員会報告が行われました。

農業問題、交通対策、町の土地利用について調査研究してきた総務経済常任委員会は、農業問題の中でも、平成26年度で10年目を迎える茶業振興補助事業に関して、町側に行った提言について報告しました。

今後の茶業振興では、JAがなわ西湘との話し合いでみえてきた、JAの荒茶工場再編計

ケーブルテレビだと初期投資で500万円、維持費で年間100万円以上かかること、現状では本会議場の音声機器を改善する必要があると回答しました。質問者からは、議会中継は、議会傍聴に取れない若い人に向けたものとして重要との指摘がありました。

そのほか、議会中の撮影や録音についても質問がありました。現在は事前に議長の許可をとれば可能になっています。



意見交換の様子（2月1日、井ノ口公民館）

人口問題に提言を

全体を通しての質疑では、議会も重視している、人口問題について、議会で調査研究し、町に提言すべきではないかといった指摘のほか、生涯学習施設の建設の動きへの質問や路線バスの減便についての対策をといった声がありました。

開催時間についても日曜日の夜間は子育て世代の女性にとっては家を空けにくい時間、座談会的なものでも工夫すべきという声がありました。

画に、中井町の生産者がどのように加われるか、また足柄ブランドに向けたJA、町からの生産者支援がポイントになります。質疑では、平成26年10月の台風による豪雨で増水した中村川の管理について、メガソーラーの状況についてなどが出ました。

こども園や子ども子育て支援、地域包括支援センターについて協議を重ねてきた、文教民生常任委員会は、渡り廊下工事の遅れなどの課題もあったが、なにかいこども園が開園したこと、地

域包括支援センターでは、主任ケアマネージャーを1名増員することが実現したことなどを報告。意見書提出となった「手話言語法(仮称)」制定やウイルス性肝炎患者へ支援についての重要性についても話すことが出来ました。

質疑では秦野赤十字病院の産婦人科の分娩終了に対する町や議会の対応に質問があり、議会からは秦野市及び秦野市議会の対応や動きをお伝えしました。

ご感想をお聞かせください。



議会報告の様子（1月25日、農村環境改善センター）

*** 議会のつぎき ***

2月

- 1日 議会報告会
- 4日 上郡議長会議員研修会
(足柄上区同庁舎)
- 5日 議会全員協議会
- 13日 総務経済常任委員会
- 20日 町議員研修会
- 24日 議会運営委員会

3月

- 3日 定例会本会議
- 4日 定例会本会議
- 5日 議会全員協議会
- 6日 総務経済常任委員会
- 9日 文教民生常任委員会
- 11日 定例会本会議
- 13日 議会運営委員会

4月

- 25日 議会だより編集委員会
- 2日 議会だより編集委員会
- 9日 議会だより編集委員会

5月

- 8日 臨時議会
- 議会全員協議会

報告 総務経済常任委員会

「農業問題について」は、農産物等のブランド化に期待するところもあり、また、販路の確保は、町と関係団体と生産者を含め、十分協議していく必要がある。人・農地プラン、地域農業再生協議会の果たす役割は重要であり、動向を注視していく。

「交通対策について」は、バス路線の廃止により、オンデマンドバスの役割は大変重要となってくる。より一層町民が利用しやすいようにするため、駅に近い所に乗り入れ場所を設置することや、乗継拠点として井ノ口の前バス停を定めることが望ましいと集約された。また、オンデマンドバス以外の交通手段も検討する必要がある。

「町の土地利用について」は、役場周辺の生涯学習センターについての課題、砂利採取跡地では、災害の無いような整地を考え、また、南部メガソーラー事業用地の周辺土地利用も含め、今後も注視していく必要がある。

以上、調査事項の結果を本会議で報告し、審査を終了とした。

報告 文教民生常任委員会

「子ども子育て支援について」を調査してまいりました。

町における子育て支援は、近隣市町に先駆けていち早く取り組まれており、中でも小児医療費助成事業の支給対象を中学校終了までとしたことは画期的な先進事例でした。その他、放課後児童健全育成事業・子育て支援センター運営事業・保育園保育料の軽減等々あり、不妊治療から出産、中学校終了まで子育てしやすい環境を整備している。

また、27年度においては学校給食・保育料の助成が予定されていて、さらに地方創生先行型事業による交付金を充当して、新たな子ども・子育て支援事業として補助金が交付されます。

以上のことから、財政の厳しい中、現時点での施策は適切と判断し、審査を終了とした。

町民の声

岩崎 要(宮町)

わたしは中井町に引越してきて23年が経ちますが、この地への移住を決めたポイントは二つありました。一つはこのすばらしい自然環境です。水道水が地下水で賄われていることには驚きました。これで水道水を煮沸して飲まなくてもよいことに、家族みんなで喜びました。もう一つは交通の便です。中井町には鉄道の駅はありませんが、JRと小田急のどちらも利用可能であり、横浜・東京などの大都市にわずか1、2時間あまりです。また、東名インターには、短時間でアクセスできます。そして大きな災害がない。これらのことは、都市近郊の立地条件として特筆に値するのではないのでしょうか。長年住んでいると当たり前に享受しているこれらのことが、中井町の大きな強みであることを認識させられます。

中井町の魅力をもっともっと情報発信していただき、人口減少に是非とも歯止めをかけていただきたい。

編集後記

編集委員になって2年、計7回の議会だよりを発行してきましたが、今回が最終発行となります。

表紙の写真では、成人式や入学式など、数多い写真の中から選考におおいに悩みました。また、紙面の刷新に引き続き、発行日を半月早めました。

この号の発行時には、新たな議員による「議会だより編集委員会」が構成されます。新鮮な感覚と高い志を持って議会活動に取り組んで頂くことを切に願っています。

2年間のご愛読に感謝申し上げますとともに、次号以降、新体制での「議会だより」にご期待下さい。

議会だより編集委員会

- 委員長 戸村裕司
 - 副委員長 二宮章悟
 - 委員 金子正直
 - 委員 岸光男
- 問い合わせ
議会事務局

☎(81)30055

第1回臨時議会

平成27年第1回中井町議会臨時会が、5月8日に招集され、会期を1日限りと定め、議長、副議長の選出、各常任委員会委員の選任、議会選出の一部事務組合議員の選任、農業委員の推薦、監査委員の選任等を行いました。

また、町から専決処分の承認について提案され、原案のとおり承認しました。

なお、条例、規約等に基づく各種の議会選出委員の選出を、全員協議会で行いました。

専決処分

◎中井町税条例等の一部を改正する条例

地方税法等の一部を改正する法律が平成27年3月31日に公布され、同年4月1日からの施行に伴い、法人町民税均等割の税率区分の基準の見直し、固定資産税の用途変更宅地等の「みなし方式」の課税方式を平成29年度まで3年間延長し、また、軽自動車税の二輪車等の税率引上げ時期を平成27年4月1日から28年4月1日に1年間延長しました。

議会の構成

総務経済常任委員会

- 委員長 原 憲三
- 副委員長 井上 泰弘
- 委員 成川 保美
- 委員 森 丈嘉
- 委員 尾上 壽夫
- 委員 尾尻 孝和

議会運営委員会

- 委員長 成川 保美
- 副委員長 原 憲三
- 委員 戸村 裕司
- 委員 清水 招男
- 委員 岸 光男
- 委員 井上 泰弘

文教民生常任委員会

- 委員長 岸 光男
- 副委員長 峯尾 進
- 委員 清水 招男
- 委員 戸村 裕司
- 委員 加藤 久美
- 委員 庄司 征幸

議会だより編集委員会

- 委員長 戸村 裕司
- 副委員長 尾尻 孝和
- 委員 加藤 久美
- 委員 庄司 征幸
- 委員 尾上 壽夫

議会広聴委員会

- 委員長 峯尾 進
- 副委員長 成川 保美
- 委員 清水 招男
- 委員 原 憲三
- 委員 岸 光男
- 委員 井上 泰弘

議会選出 一部事務組合議員等

- ◎神奈川県町村情報システム 共同事業組合 森 丈嘉
- ◎足柄上地区広域行政協議会 森 丈嘉
- ◎都市計画審議会 戸村 裕司
- ◎国民健康保険運営協議会 成川 保美
- ◎青少年問題協議会 岸 光男
- ◎民生委員推せん会 岸 光男
- ◎社会福祉協議会 理事 原 憲三
監事 成川 保美
評議員 岸 光男
- ◎介護保険運営協議会 戸村 裕司
- ◎生涯学習推進協議会 井上 泰弘
- ◎環境審議会 清水 招男

各種審議会 協議会等の委員

- ◎地域福祉計画推進委員会 庄司 征幸
- ◎健康増進計画推進委員会 尾尻 孝和
- ◎砂利採取地対策協議会 峯尾 進
- ◎生涯学習施設建設準備委員会 井上 泰弘
- ◎神奈川県西部広域 消防運営協議会 森 丈嘉
- ◎地域農業再生協議会 原 憲三

正・副議長選挙の結果

- ◎議長選挙
 - 森 丈嘉 6票
 - 岸 光男 3票
 - 尾尻 孝和 1票
 - 成川 保美 1票
 - 無効 1票
- ◎副議長選挙
 - 戸村 裕司 5票
 - 原 憲三 4票
 - 岸 光男 2票
 - 無効 1票

第18期 新議員紹介

第1回臨時議会



⑩ 岸 光男
無所属 (3)



⑪ 長 丈嘉
無所属 (3)



⑫ 小清水招男
無所属 (4)



⑬ 成川保美
無所属 (5)



⑥ 尾上 壽夫
無所属 (1)



⑦ 尾尻 孝和
日本共産党 (1)



副議長
⑧ 戸村 裕司
無所属 (2)



⑨ 原 憲三
無所属 (3)



① 加藤 久美
無所属 (1)



② 井上 泰弘
無所属 (1)



③ 峯尾 進
無所属 (1)



⑤ 庄司 征幸
無所属 (1)

(○)の数字は議員議席番号、()の数字は当選回数

議長に 森 丈嘉 議員

副議長には 戸村 裕司 議員選出

就任のあいさつ

議長 森 丈嘉

平成27年第1回臨時議会におきまして、中井町議会議長に選出され、町議会運営の重責を担うことになり、身の引き締まる思いであります。

本町議会は、平成25年の議会基本条例制定を機に、議会報告会・意見交換会の開催をはじめ、公聴委員会の新設、規程・要綱作りを進めてまいりました。

これからも二元代表制の下、議会に与えられた権能と使命、議員の職責などの均衡を図るためにも、議員倫理条例の策定や

議会モニター制度の導入検討など、町民の声が届く町議会の改革を推進してまいります。

また、執行機関との適切な距離と緊張関係を維持し、真摯な議論を重ね、陳情や要望・意見等、議会で決定した事項は町政運営に反映するよう、しっかりと働きかけをしてまいります。その役割も、議長の大切な仕事のひとつと考えております。

今後とも、町議会に対し、ご示唆・ご支援をお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

副議長 戸村 裕司

日頃より議会へのご理解ご協力を心より感謝いたします。このたび、副議長に選出され、その職責の重さに決意を新たにしております。全力を尽くして、議長を支え、議会運営並びに町づくりに邁進してまいります。

具体的には、みなさまと手を携えていくことが最重要です。議会基本条例に基づく意見交換

の場合、議会報告会、また議会たより等で顔の見える議会を大事にし、みなさまと議会をしっかりとつないでまいります。また、12人の議会となり、議員個々の責任と在り方はより一層問われています。自らを含め、議員が存分に活動し、実りある審議へとつなげていくよう努力し、より信頼される議会を目指します。